

令和6年度 教育研究の概要

1 研究領域

学力向上

2 研究主題

気づき、考え、表現する児童生徒の育成（3年計画の第1年次）

～ 伝え合う場面を設けた授業づくりを通して ～

3 研究主題設定の理由

本校は、児童生徒数が少なく、環境の変化にも乏しいため、日頃の生活の中でも必要最低限の言葉で自分の思いが伝わる環境にある。そのため、相手に分かりやすく伝えるという意識で話すことや自分の考えを伝え合う機会も少ない。それは、授業の中でも同様に、自分の考えを主体的に発信する児童生徒が多くはない。

そのため、どの授業でも、伝え合う場面を設けることにより、自分の考えをもち、意見の交流をすることで自分の考えを広げ深めることができるのではないかと考えた。そのため、指導者が伝え合う場面を設定し、本校の「北山校の学習のすすめかた」の「考える」「深める」を軸として、生徒主体の学習を仕組むことで、気づき、考え、表現する児童生徒の育成が期待できるであろうと考え、上記の主題設定をした。

4 目指す児童生徒像

- ・自分の考えをもち
- ・自分の考えを広げ深める
- ・自分の考えをわかりやすく（論理的に）表現する

5 研究内容

①現状把握

- ・児童・生徒対象アンケート
- ・先生対象アンケートを行う。

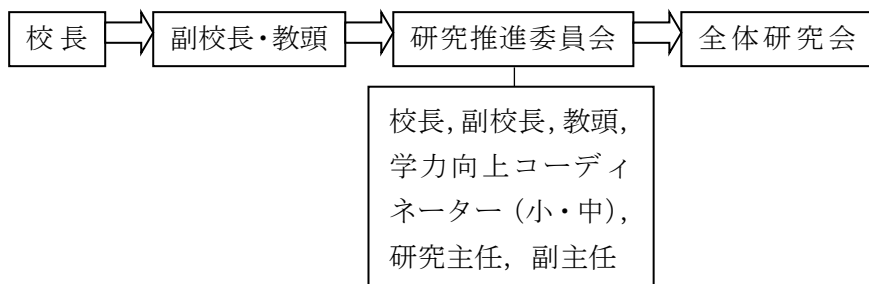
②実践

③変容を見る

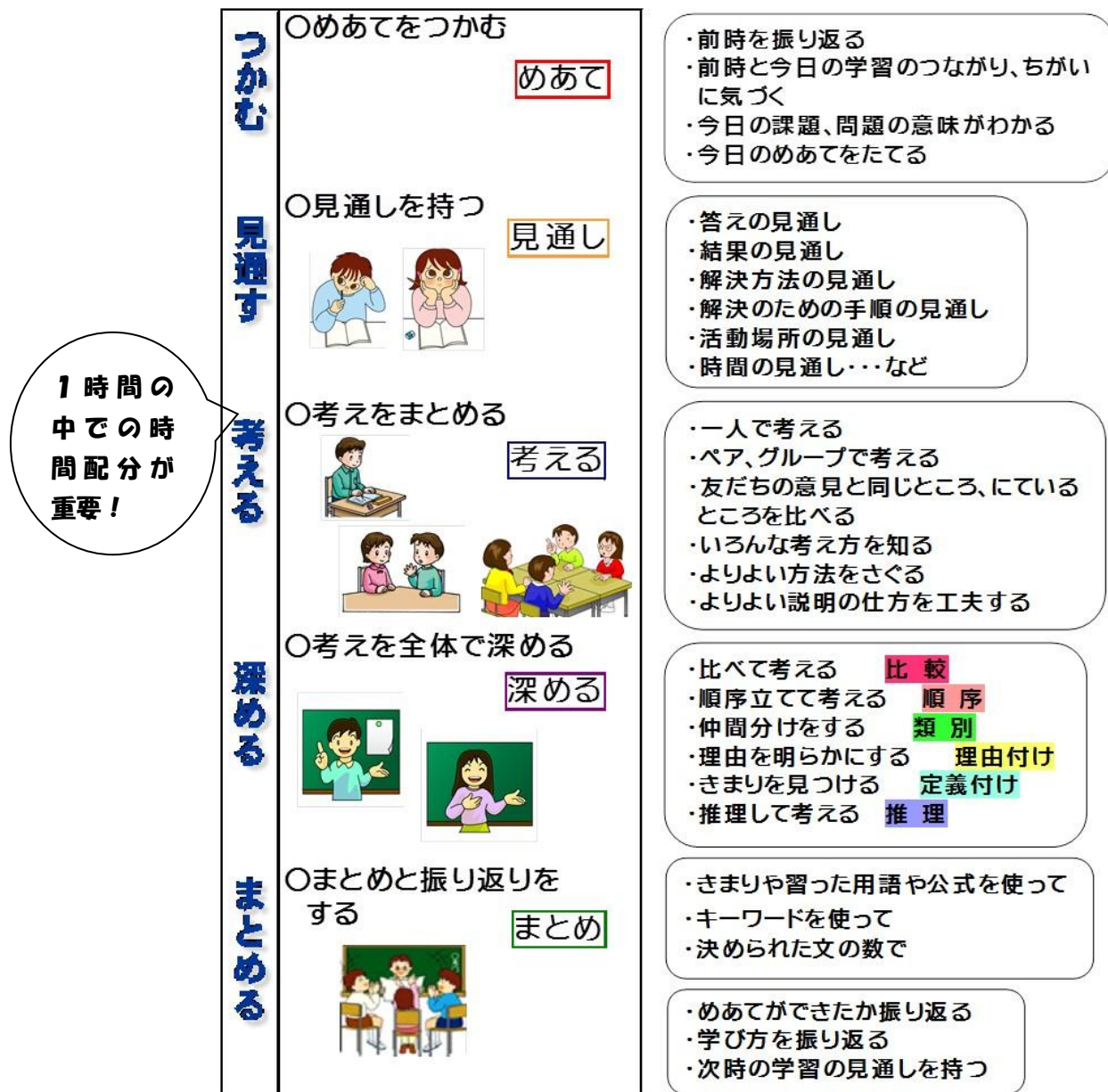
- ・児童・生徒対象アンケート
- ・先生対象アンケートを行う。

④振り返り、次年度につなげる

6 研究の組織



北山校の学習のすすめかた



○学習過程において

- ①問いを見いだす ②課題設定 ③解決方法を考える ④計画 ⑤実践
⑥振り返り（評価・改善）とし、①～⑥のサイクルを意識した授業を行う。

○「北山思考スキル」

- ・比較 順序 理由付けなどの「北山思考スキル」を活用して、考えをまとめたり深めたりさせる。

○「主体的・対話的で深い学び」を意識して授業をデザインする。

●「表現する・伝え合う」場面を設けた授業づくりの工夫

- ・場面の設定、形態の工夫、ICT 利活用、ワークシートの工夫など

○まとめ

- ・授業の終わりにまとめをし、振り返りを記述させる。